

南海トラフ地震に立ちむかうために

南海トラフ地震の被害想定が見直されました。これによると、「災害関連死」による死者の数は、最悪の場合、5万2,000人にのぼるとされ、東日本大震災の10倍の規模となっています。弱い立場にいる人が、より苦しい状況に追い込まれることがないようにするために、いまわたしたちにどのようなことができるのでしょうか。

みなさんと交流しながら理解を深めたいと思います。

12月13日 土 午後13:30-16:30

場所：小田南生涯学習プラザ3階ホール（尼崎市長洲中通1丁目6番10号）

JR 神戸線 尼崎駅南口より東へ徒歩5分

【駐車場】24台（内・車イス2台） ※要許可証

手話・
要約筆記
有り

第一部 基調講演

関西大学 社会安全学部 近藤 誠司 教授

「巨大災害に立ちむかう ～つながりをチカラに！～」

第二部 テーブルごとに意見交換

「いざというときに助け合える、尼崎独自の連携策を考えてみよう」

普段からどのような人たちと「連携」しておくとういかに、みんなでアイデア出しをおこないます。福祉や医療、防災の関係者だけでなく、もっともっと「つながり」の輪を広げていくための、たのしい“作戦会議”です！

問合せ

尼崎市難病団体連絡協議会

☎ 090-4905-3127

✉ amananren@docomo.ne.jp

事前申込は

こちらから

（12月5日締切）



（主催）尼崎市難病団体連絡協議会・尼崎市（後援）尼崎市社会福祉協議会・尼崎市医師会

関西大学近藤研究室の調査活動には「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」の助成金が活用されています。